

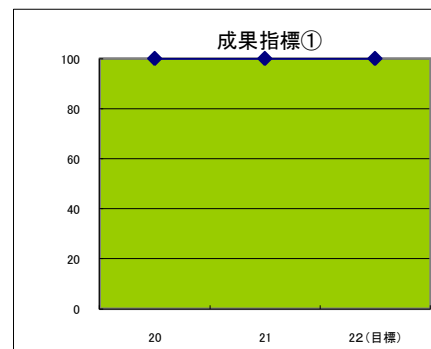
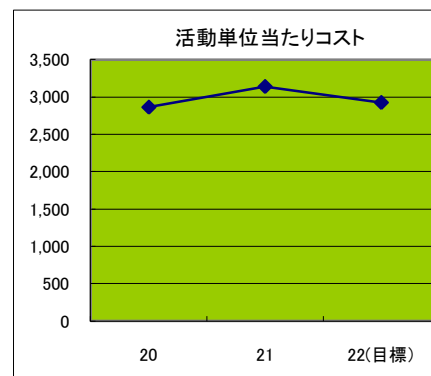
平成 22 年度 事務事業評価シート(平成 21 年度実施事業)

整理番号

市危09

事務事業名		防犯灯設置・維持管理補助事業		予算科目	会計	1	一般会計
					款	2	総務費
					項	1	総務管理費
					目	14	防犯対策費
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	1	安全・安心、快適で住みやすいまち	事業	1	防犯対策	
	施策(節)	4	防犯				
	施策の方向	(1)	防犯意識の高揚				
関連する計画等				作成部署	市長公室危機管理室		
事業の目的	対象(誰を・何を)			連絡先	072 - 958 - 1111 内線 2712		
	市民						
	意図(どういう状態にしたいのか)						
事業の内容	防犯意識の高揚を図り、犯罪数の減少を行う。						
	各町会やグループで新規設置する防犯灯に補助を行い、防犯灯の増設を図る。また維持管理費として電気代の助成も行っている。(既存の電柱やポール等に取り付ける場合8,000円、ポール等を新たに設置し取り付ける場合10,000円)						
根拠法令等							
事業開始時期		☒ 昭和 55 年開始 ☐ 明確にはわからない ☐ 平成 ☐ 市制施行(昭和34年)以前より行っている			終了年度	平成 年度	
事業開始時からの状況変化		町会やグループ等からの申請に基づき行っている事業で、年々防犯灯は増加しており、明るい街が出来てきている。					
市民や議会の要望							
実施手法		☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 補助金・助成金 ☐ その他()					
委託先		☐ 市外郭団体委託 名称() ☐ 民間委託 ☐ その他			委託内容		

区 分		20年度	21年度	22年度
		(実績)	(実績)	(見込み)
事業費【1】 (千円)		22,806	25,590	23,732
人件費【2】 (千円)		3,180	3,180	3,180
職員数	正規職員	0.40 人	0.40 人	0.40 人
	再任用職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	嘱託職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	臨時職員	0.10 人	0.10 人	0.10 人
	超過勤務(参考) (時間)	0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間
総事業費 (【1】 + 【2】) 【A】 (千円)		25,986	28,770	26,912
財源内訳	国費 (千円)			
	府費 (千円)			
	市債 (千円)			
	その他 (手数料・使用料等) (千円)			
	一般財源 (千円)	25,986	28,770	26,912
活動指標(事業の活動実績)【B】 単位		20年度	21年度	22年度(目標)
① 防犯灯数	数	9,079	9,160	9,200
②				
③				
活動単位当たりコスト (【A】 / 【B】 ①)		2,862 円	3,141 円	2,925 円
市民1人当たりコスト (【A】 / 人口)		217 円	242 円	226 円



成果指標 (事業目的の達成度を測る指標)	指標名		単位	指標設定の考え方	平成20年度		平成21年度		平成22年度
	①	対応率	%	申請のあった町会及びグループに補助を行う	目標	100	100	達成率(%)	100
		(式) 補助件数÷申請件数×100			実績	100	100	100.0%	
	②				目標			達成率(%)	
					実績				

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性	分析・評価の説明
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある	有	ひったくり等の路上犯罪が多く、犯罪防止の為に必要である。
				○		○					

視点	分析のためのチェック点	はい	いいえ	該当なし	分析・評価の説明
妥当性	市民ニーズが高い	☒	☐	☐	犯罪防止や各町会の活動を支援するためにも妥当である。
	市民ニーズに比較してサービスの供給過剰となっていない	☒	☐	☐	
	社会情勢の変化に対応している	☒	☐	☐	
	他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない	☒	☐	☐	
	国・府の事業と重複していない	☒	☐	☐	
	事業を休止、廃止した場合の影響度が大きい	☒	☐	☐	
	緊急性が認められる	☒	☐	☐	
効率性	単位コストが適切である(経年、他市比較など)	☒	☐	☐	市民にも負担頂いており、効率性は良い。藤井寺市では全額が市負担である。
	受益者負担の割合は適当である	☒	☐	☐	
	人員を削減する余地がない	☒	☐	☐	
	事業費を削減する余地がない	☒	☐	☐	
	簡略化できる方法や手段がない	☒	☐	☐	
	市の他事業と重複していない	☒	☐	☐	
	民間活力(民間委託、NPO、ボランティア、PFIなど)の活用について検討の余地がない	☐	☐	☒	
有効性	上位の施策(目的)が明確である	☒	☐	☐	犯罪抑止に貢献している。
	上位の施策(目的)への貢献度が高い事業である	☒	☐	☐	
	成果を向上させる余地がない	☒	☐	☐	
	市民の視点にたってサービスが提供されている	☒	☐	☐	
協働性	事業の企画、立案に市民が参加している	☐	☐	☒	町会やグループからの申請に基づき行っている為、市民が危険個所の調査を行い設置場所の決定をしている。
	事業の実施に向けて、市民と情報の共有が図られている	☒	☐	☐	
	事業の実施について積極的に市民の意見を反映している	☒	☐	☐	
	事業の実施に市民の参加、協力が得られている	☒	☐	☐	
達成度	成果指標の目標値は適正である	☒	☐	☐	適正な補助を行っている。
	成果指標の実績値は目標値以上である	☒	☐	☐	
	成果指標は前年度より向上している	☒	☐	☐	

担当 部局 評価	総合評価
	☐ 拡大・充実 ☐ 現状維持 ☒ 方法改善 ☐ 民営化・民間委託 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ 完了
	評価の理由
	今後は市民への負担増も視野に入れ補助金の見直しを行う。
	今後に向けて(取組方針、具体的な改善改革案など)
	犯罪抑止につながる事業であり、羽曳野警察署管内防犯協議会と連携し今後も続けていく。
行 事 本 部 評 価	総合評価
	☒ 拡大・充実 ☐ 現状維持 ☐ 方法改善 ☐ 民営化・民間委託 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ 完了